

## 会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称 令和元年度第4回美里町生活支援体制整備協議会
  - 2 開催日時 令和2年1月16日(木)午前10時から午前11時5分まで
  - 3 開催場所 駅東地域交流センター 大会議室
  - 4 会議に出席した者
    - (1) 委員 小野俊次会長、角田フミ子委員、佐々木義夫委員
    - (2) 事務局 相原浩子、横山太一、菅井晶  
山口保広、永沼威雄、高橋ゆかり、田村紗希
  - 5 会議の公開・非公開の別  
公開
  - 6 傍聴人の人数  
0人
  - 7 会議の概要
    - 報告事項  
(1) 前回のふりかえり
    - 協議事項  
(1) 生活支援体制整備協議会啓発事業について  
(2) 地域資源の情報整理について  
(3) 令和2年度協議会委員について
- 署名委員  
佐々木義夫委員、角田フミ子委員

(2) 協議事項における詳細な意見

高橋	定刻となりましたので令和元年度第4回美里町生活支援体制整備協議会を開会します。 開会のあいさつを小野会長からお願いいたします。
小野会長	本日は少人数の会議で協議事項が3つとなりますが皆さん積極的な御意見をお願いいたします。
高橋	続いて署名委員の選出に入りたいと思います。
	(事務局一任の声)
高橋	本日は出席が少数で大変申し訳ありませんが、佐々木委員と角田委員にお願いしたいと思います。
	(はいの声)
高橋	続いて3.の報告に入りたいと思います。 (1) 前回のふりかえり、というところで1ページ目に前回のふりかえりとして3回目の協議会の概要を記載しております。 開催の内容について報告は前回のとおりとなっております。協議事項では生活支援の仕組みについて皆さんに話し合ってくださいました。その中で美里町がこれから目指す生活支援サービスについては自助と互助の範囲にある地域のつながりをベースに支え合いを高めていくためのサービスや仕組みを協議会として支援していくという方向性で皆さんと合意形成を得ました。 公助、自助・互助でも対応しづらい部分、生活する上でも対応しづらい部分を共助で対応することが、これからの美里町には必要であるということをご皆さんと共有して理解しました。次のページにわかりやすく図解しておりますが、このAさんの暮らしのこの部分が不足しているので共助である生活支援サービスで対応していければいいというところで理解をしたところでした。 今後、進めていくこととして各地域での地域課題と今ある支え合いを把握して情報の整理することと、生活支援のサービス支援の啓発、先進事例等を紹介しながら意欲の向上だったり活動のヒントやきっかけを掴むように計画していくことが必要かなということで話し合いがされました。 また、各地域で生活支援サービスを始めるチーム作りを、これから人材養成の仕組みの検討を含めながら進めていくことを通して支え合いの地域づくりを推進していくという協議内容でした。 (2)の生活支援体制整備協議会啓発事業については前回の資料にありました開催要項を基に内容を確認して皆さんから意見をいただき

	<p>ました。第2部の話題提供、寸劇の部分については再度検討することとして啓発事業の開催が3月10日と日程が決まったこともあって事前に打ち合わせをしたいということで本日の4回目の協議会を開催したという流れになっております。</p> <p>以上で前回の振り返りとします。皆さんから何か御意見等ございますか。</p>
	(特になし)
高橋	では4の協議事項に移りたいと思います。ここからは小野会長に進行をお願いいたします。
小野会長	<p>それでは4の協議事項に入ります。</p> <p>(1)生活支援体制整備協議会啓発事業について、事務局から説明をお願いします。</p>
高橋	<p>前日も話し合っていたところですが、本日は3つの事項について皆さんから御意見をいただけたらと思います。</p> <p>最初に寸劇についてです。事務局でも検討しまして、今後、事業を進めていくために地域の人たちがこんな活動をやりたいよねという「ぽっ」という芽が産まれるようにするためには、当日に地域の発表のライブトークにメインを置くという方向で調整しまして、今回は寸劇をやらずにライブトークをメインで進めたいと考えておりました。ただ、前回の皆さんの意見からは寸劇を実施してもよいのではという御意見もあったことから、再度確認していただきたいと思います。</p>
小野会長	ライブトークは何組で、どの程度の時間を使うのか決まっていますのですか。
高橋	<p>資料の5～6ページにタイムスケジュールを掲載しております。</p> <p>第1部で志水先生の講演、第2部でライブトーク「美里のお宝 大発表会」としておりました。時間的にも概ね3グループで、1グループの発表は20分を目安としてお話しいただこうかなと考えておりました。</p>
小野会長	それでは寸劇については今回は実施しないということよろしいでしょうか。
角田委員	昨年聞いた声ではトークになってから1件1件が長く、終了時間が間延びしたという声も聞かれました。ライブトーク自体、発表者自身も盛り上がってしまうことから何らかの工夫をして終了時間を予定どおりとできるように。
佐々木委員	確かにライブトークは時間がかかるので興味ある人は問題ないですが参加者全員が興味あるわけではないので、長く感じる人がきるとい

	<p>うことは間違いではないと思います。ですから構成を少し見直しして、あくまでも例ですが興味ある方には詳しい説明できるような個別対応の時間を設けて1グループ辺りの時間を少し短くするとか工夫と興味を持ってもらえるような構成を考える必要があるかと思います。</p> <p>確かに寸劇は1回目はインパクトが非常に大きく良かったのですが、2回目、3回目となるとマンネリ感が生まれるため、止めるのではなく今回はお休みと考え、別な形でやってみたほうがよいのではないかと。今回はその時間をライブトークの時間に割り当てることに賛成です。</p>
角田委員	<p>極端な意見になるかもしれませんが、公演を毎回最初に持ってくることは、内容は違おうとしてもマンネリ感を生み出すと参加された方から聞いたことがあります。</p>
横山	<p>昨年度などは時間も長引いたこともあり、なおさらそのように感じたのかもしれません。</p>
高橋	<p>今回は講師にも既に進行スケジュールをお示ししているので予定どおり進めようかとは思いますが、今の御意見については次回の検討課題とさせていただきます。</p>
小野会長	<p>他にございませんか。今の意見から今回は寸劇をしないということによろしいですか。</p>
	<p>(今回はいらないですの声)</p>
高橋	<p>それでは今回はライブトークをメインに進めていくということで、寸劇についてはまたの機会があれば実施したいと思います。</p> <p>次に2つめの確認事項として、ライブトークについて私自身進め方を迷っておりまして、名取市で同じような形で2部構成で最初に基調講演、2部で地域の方からお話しをいただくという発表会をやるということでしたので、明日行ってみようと思っております、そこも参考にしながらライブトークのところを参考にできる部分があれば取り入れてきたいと思っております。進め方について話し合う場は本日しかないのですが、皆さんから御意見等ございますか。</p>
小野会長	<p>そこについてはお任せでよろしいかと思っております。</p>
	<p>(他の出席委員からも了承の声)</p>
高橋	<p>それではライブトークの部分の進め方については事務局側で調整したいと思います。タイトルについても事務局案として美里のお宝大発表会、サブタイトルとしてお互い様の支え合いが未来を開く、という形にしたのですが、いかがでしょうか。</p>
	<p>(よろしいと思えますの声)</p>

高橋	<p>ありがとうございます。志水先生の公演いただく内容とリンクさせてみました。</p> <p>3点目、啓発事業の関係でもう1点確認なのですが、資料の9ページ目になります。ここでライブトークに参加いただく登壇者の方々の案を示しております。これまで過去2年は私が取材させていただいたところから登壇者を選ばせていただいて、皆さんに知ってもらいたい活動ということで御紹介させていただいておりましたが、今年度は地域福祉力UP情報交換会を小牛田、不動堂、北浦で今のところ開催しており、他に今月末に中埴と南郷で開催する予定となっております。</p> <p>全ての地域情報交換会の内容はお宝探しというテーマでグループワークをしていただいてそれぞれの行政区からお宝を1つ選んでもらう形にしておりました。せっくなので情報交換会を活かして話し合いから出たお宝をできれば紹介した方がリンクできるのかなと思っておりました。そこから選定したのが9ページのライブトーク案1と11ページの案3、12ページ目の案4になります。10ページの案2については情報交換会から出たものではないのですが個人的に取り組んでいる皆さんについては是非知ってもらいたいなということで選定したところです。案4については情報交換会ででたものなのですが詳細についてはまだ取材しておりません。</p> <p>案が4つあるのですが、これで調整を進めていってもよろしいか、あと各団体からオファーを断られる可能性もあります。</p>
小野会長	まだオファーはしていないのですか。
高橋	まだどこも打診していない状況です。今回の資料も案という状況です。なので情報交換会から挙がったものをメインに打診していても良いかということを確認させてください。
小野会長	情報交換会をあまり気にすることはないのではないかな。
高橋	体制整備協議会と情報交換会の報告会という意味も兼ねておりますのでこのような形とさせていただきたいと考えております。
小野会長	結構内容は重複しそうですね。
高橋	傾向は似てきます。
小野会長	知ってもらいたいものをピックアップして我々は事務局にお任せでよいのかなと思います。
	(それでよいの声)
高橋	了解しました。ではこの案の中から打診していきたいと思います。
佐々木委員	やはり発表をお願いすると嫌がる方もおりますかね。私自身も発表となると苦手なのですが、今後、自分たちが行っていることを広めて

	一緒にやっといこうよと考える方々を増やしていかなければならないので何とか協力をしてもらうような流れを作っといってもらいたいです。
角田委員	始めは嫌でも壇上に上がっといざとなると人はその気になっってしまうものです。高齢になるとそのような機会も少なくなっってしまうので、良い機会として是非とも発表していただくような形で調整を進めてください。
佐々木委員	当日の進行がフォローできれば上手くいくと思います。よろしくお願いします。
小野会長	この件について他にございませんか。
角田委員	事業の周知について今年度は人数のとりまとめはしないとなっておりますが、大丈夫なのですか。自由参加という形で回覧すると当日出席する人が少なくなると思います。
小野会長	昨年度は何人集まったのですか。
高橋	昨年度は少なく60人程度でした。
小野会長	最低何人は行政区から出席させてくださいと行政区長にお願いはできると思います。
高橋	2月の行政区長会議で周知を案内は行う考えでありました。
小野会長	私からもその場で一言お願いしようと思います。
高橋	今回、専門職の皆さんにもお声がけはしようと考えております。
小野会長	行政区でも単に回覧だけするのか、直接各戸に声がけするのかで反応は違う。
角田委員	そのようなことから取りまとめは依頼したほうがよろしいかと思えます。
高橋	それでは行政区長さん方に取りまとめ含めてお願いしたいと思えます。
永沼	<p>周知の方法についてなのですが、色々と御意見を頂戴しましたが、行政区長、民生委員、それ以外のボランティアグループ等の団体、今回タイトルには名前は載らないのですが社会福祉協議会の事業に1年間協力いただいたボランティアの皆さんについても社会福祉協議会で年に1回交流会をやってきていたのですが、今回、この啓発事業にその交流会を兼ねてボランティアさん方の活動の様子などもお見せしたいと考えて思っておりましたし、案内についても地域のボランティアの方々にも行おうと思っておりました。</p> <p>案内する方々の人数については昨年度よりも多くなります。</p>

高橋	社協事業に協力いただいたボランティアさん方の紹介については開会前にムービーを流そうと思っておりました。
小野会長	啓発事業について以上ですけれども他にございませんか。 では後は当日ということで。
高橋	昨年と同じく午前中に5回目の協議会を行って、午後から啓発事業という進め方で一日がかりで申し訳ございませんが、よろしく願いいたします。
小野会長	以上で(1)は終わります。次に(2)地域資源の情報整理についてお願いします。
高橋	<p>(2)地域資源の情報整理について、資料の13ページを御覧ください。</p> <p>現状として地域の情報がたくさんあるのですが社会福祉協議会で持っている情報、あとは長寿支援課の地域包括支援センターで持っている情報、他に職員各々の持っている情報などバラバラになっているのが現状です。他にも町内の事業者さんたちが情報だったり、地域の人だけが知っている情報などもあると思います。そのバラバラの情報を整理していきたいと考えております。</p> <p>地域の皆さんがこんな活動をしたいとか、こんなことで困っているとか、こんな人にしてほしいなどの声をあげやすくするとともに、相談しやすい環境、情報提供がスムーズにできる環境と整えていきたいと考えております。それにより災害等が生じた際にも多様な場面で地域の人たちが活躍しあえるように地域の資源を今後、整理していきたいと思っております。</p> <p>将来的には冊子やホームページなどの見える形で見える化を目指していきたいと思っております。対象とする情報を項目の3に載せておりました。大きく分けて地域活動情報と地域の情報。この分け方については、事務局でも話し合ったのですが悩んでいるところではあります。</p> <p>委員さん方から他に整理していく情報等のご意見があるようでしたら、いただきたいなと思っております。</p>
小野会長	今、説明がありましたけど事務局の案に対して御意見などありますか。
角田委員	いつまでに整理するとかスケジュールは決まっているのですか。
高橋	まだそこまでは考えておりません。次年度の年間スケジュールを作成する際に見通しを立てたいとは思っておりました。
小野会長	言いたいことは何となくわかりますが、やりたいことがイメージしにくい。

相原	冊子等にまとめる事によって、この地区ならこんなことがあるんだ、こういった活動をしている人がいるんだと可視化できます。
高橋	最初は集約をして整理していきたいと思っていて、この作業は時間がかかると思っております。整ってきたら見える形で冊子などにできたらと思います。例えば地域の方から通いの場などについて聞かれた際に、1冊の何かがあれば直ぐに答えられると思えますし、私たち自身も情報共有になるので、まずは情報の整理をしていきなと思います。
佐々木委員	行政区を更に細分化したピンポイントの地域の課題等は何か上手く吸い上げることはできるのですかね。
高橋	(2)の地域情報をイメージとしては当てはめることができます。地域の概況だったり地域課題であったり。この辺は公開するものではなく内部で共有するものとしてイメージしております。
佐々木委員	それを情報として集めることはよいのですが、方向性というか将来持っていきたいとか誘導することをおある程度考えて情報を集めたほうがよろしいかと思えます。 個人的には行政区がもう少しこのようなものを取り入れて行政区毎に盛んに、行政区同士の色々な仕組みがあるわけですから、そこを活発にしていけるのがよろしいと考えております。 そのように持っていくためには、どのような情報を集めるとよいのかということをお考えながら実施していくべきであると思えます。
高橋	まだフォーマットというか何も決まっておきませんので、とりあえず情報の整理から始めたいと思えます。
永沼	内部的に町の地域包括支援センターと社会福祉協議会と体制整備協議会と、まちづくり推進課などが結構な情報を持っていたりしますので、それらを内部資料的に集めて様式に当てはめて整理をして、ほかには情報交換会でも地域の活動について情報が出てきておりますのでまとめてみます。地区によって多く情報がある地区と無い地区が出てくるとは思いますが、それを期限まで設定はできないですがまとめて行政等と共有していけたらと考えております。そして後々は何かの成果物として住民の皆さんにもお示しできればと考えます。
小野会長	私たちにもできることがあれば声掛けいただけたらと思えます。よろしくお願ひします。 次に(3)令和2年度協議会委員について、事務局から説明お願ひします。
高橋	資料の14~15ページを御覧ください。14ページは現在の体制

	<p>整備協議会の委員名簿となっております。15ページが設置要綱となっております。</p> <p>美里町では様々な団体が地域づくりについて日々活動しているのですが、それぞれの団体が各々で地域づくりを行っている現状であります。その中で協議会と同じ方向性を持っている団体も中にはあるわけで、今後、協議会の中にも入っていただいて話し合いを重ねていくことで事業をより推進していきたい思いがありまして、今現在6人の委員に協議会の中で話し合っていたいただいているところなのですが、以前の任期では8人でした。ここから町の所管課の課長と社会福祉協議会が事務局に移ることで2人欠員となり現在の人数に至るのですが、この設置要綱の中の第3条にもあるのですが委員は15人以内を以て組織するというので、これまでの6人でも構わないのですが、他にももっと色々な団体にも入っていただいて、今後の事業の推進に一役買っていたらいいと思います。追加の委員を検討したいと思っております。この方に決定というわけではなく委員さん方から先ずは委員さん方から御意見をいただけたらと思います。</p> <p>以上です。</p>
小野会長	15人以内で協議会委員を設定できるのに、現在は6人しかいないとは、ずいぶん少ないですね。
高橋	なでももう少し団体等に入っていたらと思っておりました。
永沼	他に委員の要件については改正しようと考えておりました。
小野会長	既存の委員自体も新たに変わっていく考えですか。
高橋	現行委員の皆さんはそのまま追加の委員という形で考えることができると思っております。
相原	これから今まで出てきた生活支援の方向性を考えていく際に、美里町だったらこのような団体にも一緒に考えていってほしいといった団体を、今この場で御意見として出していただけるとよろしいかと思っております。
高橋	前回でもその中で御説明いたしましたが、老人クラブから誰かという事でお話をいただいております。
小野会長	他に推したい団体等はありませんか。
高橋	事務局から大変恐縮ですが町内では社会福祉法人が6団体あるのですが、その中からどなたか1人というのと、他には地域の各コミュニティセンターから1人どなたかと考えております。他には商工会の職員の委員が業務多忙により協議会に参加できていないので、女性部や青年部などの会員から委員としてお願いすることはできないか考え

	ておりました。
小野会長	今4つほど挙げられましたが、是非調整をお願いします。他に皆さんから団体等で意見ございませんか。
佐々木委員	団体というか、若い世代が中心となって活動しているところが入っていただけるとよろしいかと思えます。
角田委員	年齢が高くなるとこれまでの経験が優先されるので、新たな事への新陳代謝が鈍くなるという話をよく聞くので、これからのことを考えるのであれば若い世代に参加してほしいです。
小野会長	平日に開催することもあるって仕事を持っているとなかなか参加も難しい。年間開催数が少ない会議であるとその全てに参加できないという事もあり得ます。若い人に固執しても難しいと思えます。
永沼	他に町関係の団体でいえば食生活改善推進員や健康協力員などは、その数が多いことからある程度容易に人選できると思えます。あと目線を変えて、年齢は若干高くなりますが実際に地域活動されているボランティアの方やグループなども考えられるかなと思えます。
小野会長	先ずは今話が出た団体等に打診してみてください。
高橋	今話の合った団体等で決定ではないので、今後、事務局で今説明したり御意見のあった打診等進めていきたいと思えます。
小野会長	ではこの案件についてはよろしいですか。
	(了解の声)
小野会長	では、その他に入ります。
横山	<p>4月1日から、また新しい2年間の任期ということになりますが、前回の協議会でもお話しさせていただきましたが今までの委員さんのメンバーに加えて、新しい方で進めることができれば、より良い形で美里町の将来を考えて行くことができると思っております。</p> <p>4月1日からも現在の委員の皆様には継続して委員になっていただきたくお伺いしたいなと思っております。決して充て職ではなく今まで積み上げてきたものがありますので、例えば組織の役職からは外れたとしても4月以降も継続してこの協議会には入っていただくことは事務局としても強くお願いしたいところですし、委員の皆さんもそのように考えていただけるものと思っております。</p>
角田委員	また一からと言われると大変であると思えます。今まで積み上げてきたものが1人だけ最初から学びなおすことは大変です。
佐々木委員	10人位で組織された協議会なら改選で2人程度新規の方をと云えるのですが、少数ですので継続がベストであると思えます。
	(出席委員から継続に関して了承)

高橋	皆さんあつての協議会ですので、よろしくお願いいたします。
	その他で、これからの福祉を考える全国セミナーについて事務局から説明
	終了 11時5分

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和 年 月 日

委員 \_\_\_\_\_

委員 \_\_\_\_\_